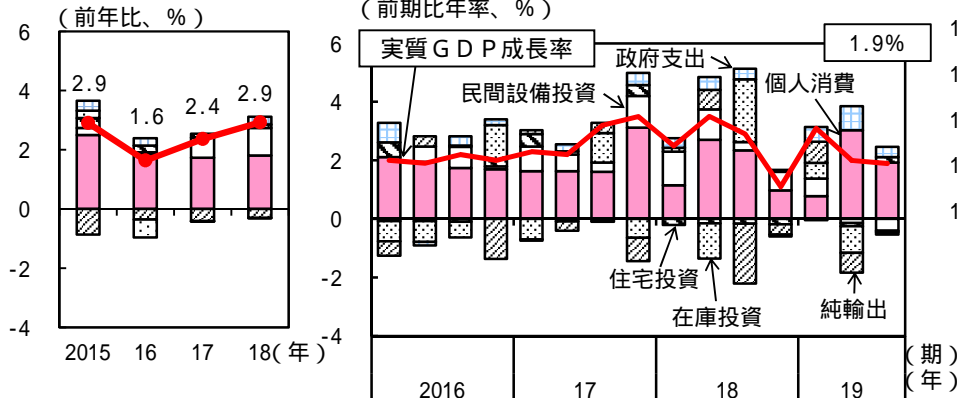


1. アメリカ

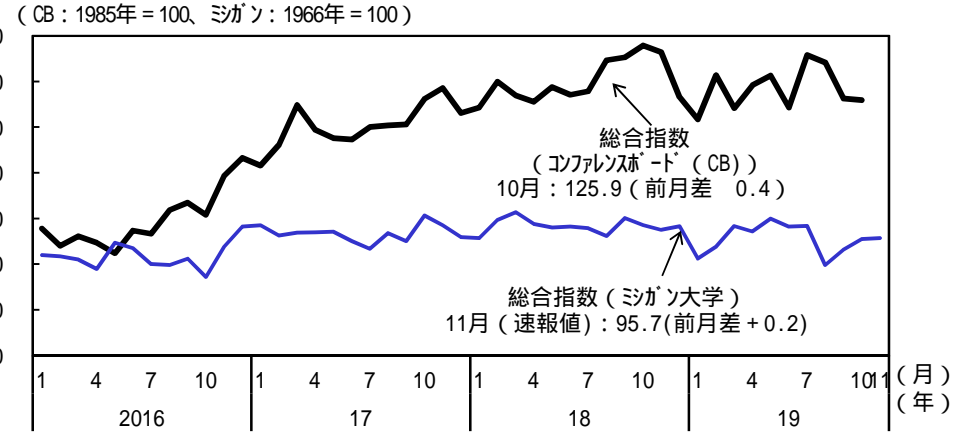
アメリカでは、景気は回復が続いている。

実質GDP成長率（1次推計値）
2019年7 - 9月期は前期比年率1.9%成長

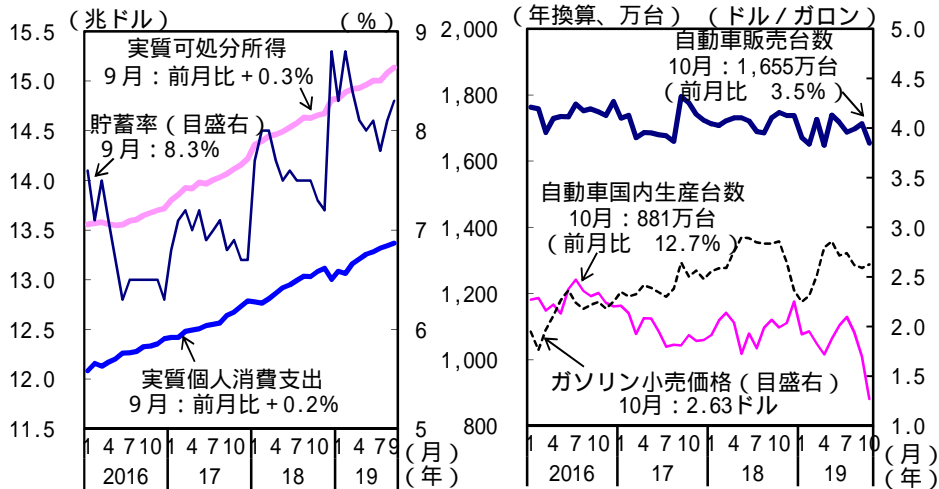


(備考) 2019年7 - 9月期の寄与度 (%) は以下のとおり。個人消費: 1.9、民間設備投資: 0.4、住宅投資: 0.2、在庫投資: 0.1、政府支出: 0.4、純輸出: 0.1。

消費者信頼感指数

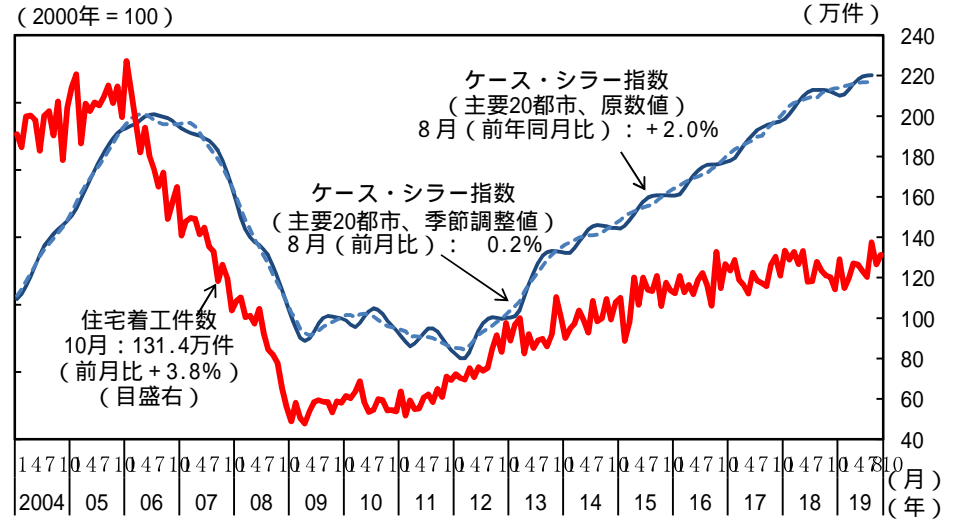


消費は緩やかに増加、自動車販売台数はおおむね横ばい

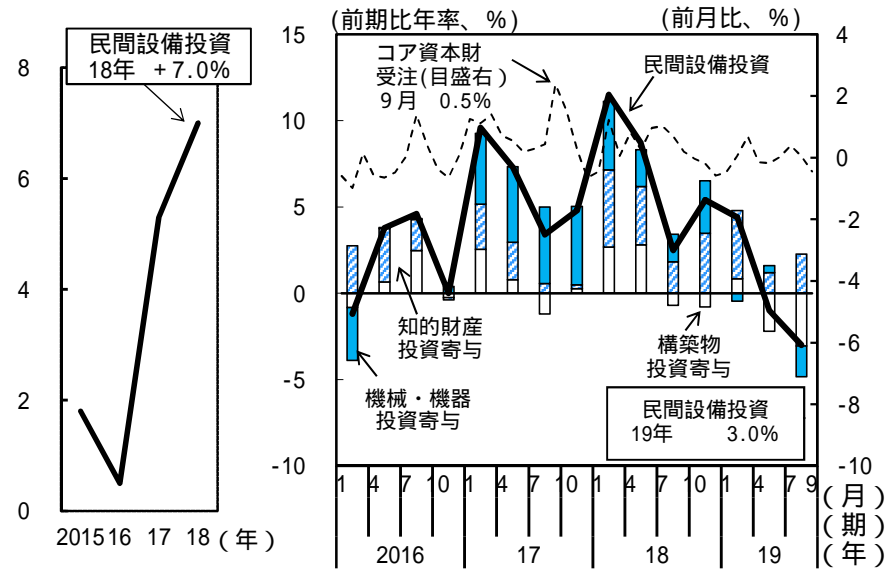


(備考) 月次の値は年率換算。

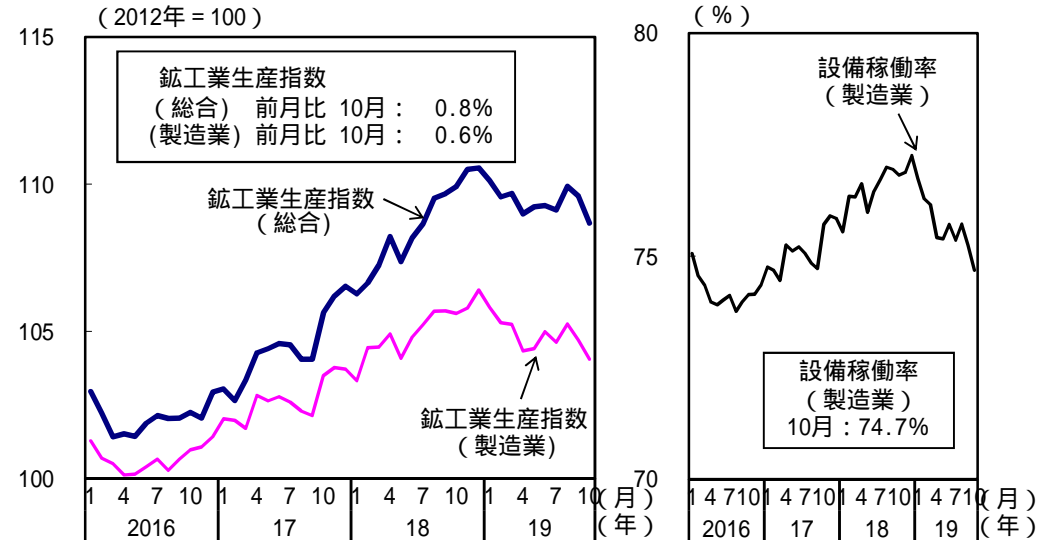
住宅着工はこのところ緩やかに増加、住宅価格は伸びがやや低下



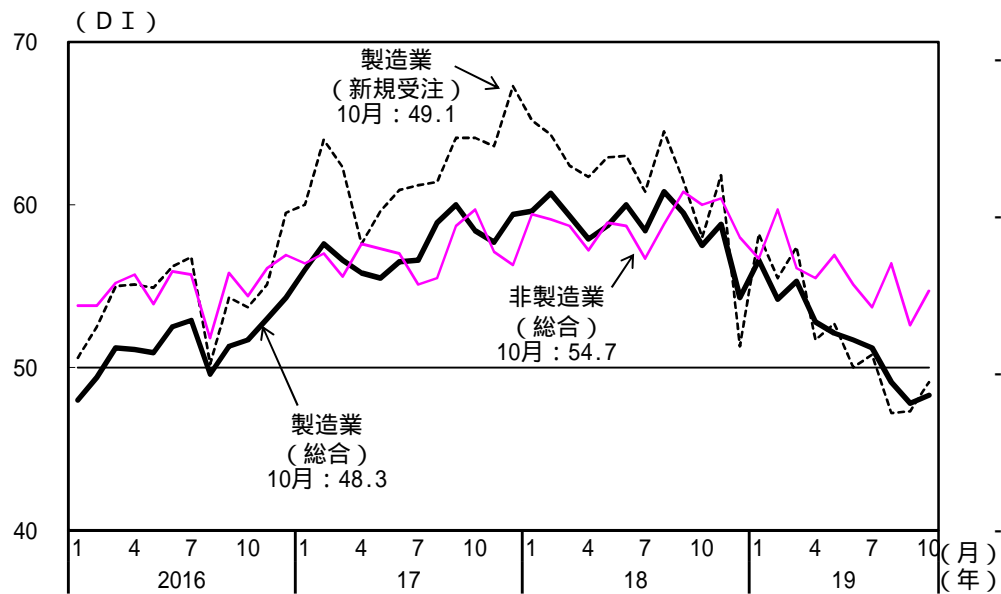
設備投資は減少している



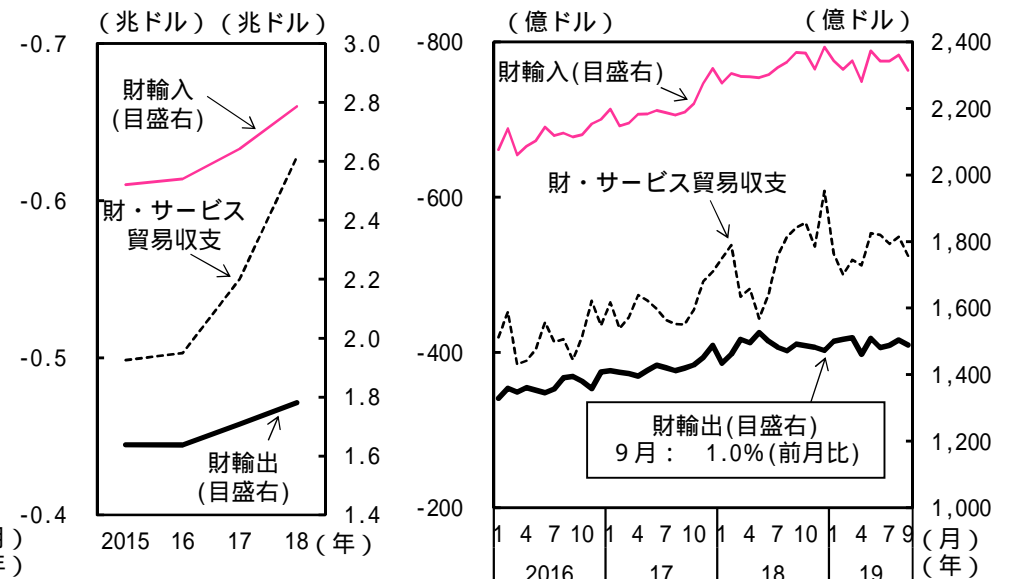
生産は弱い動き



製造業の景況指数は低下

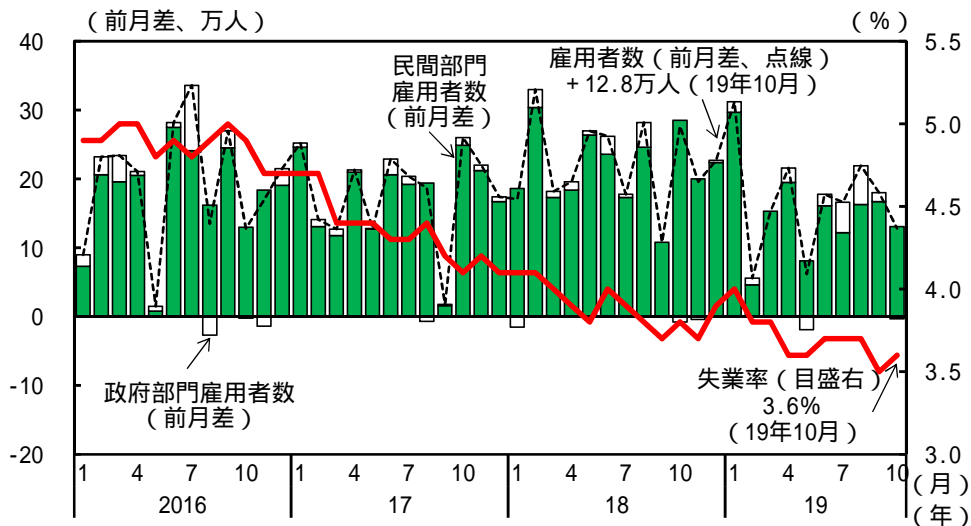


財輸出は弱含み



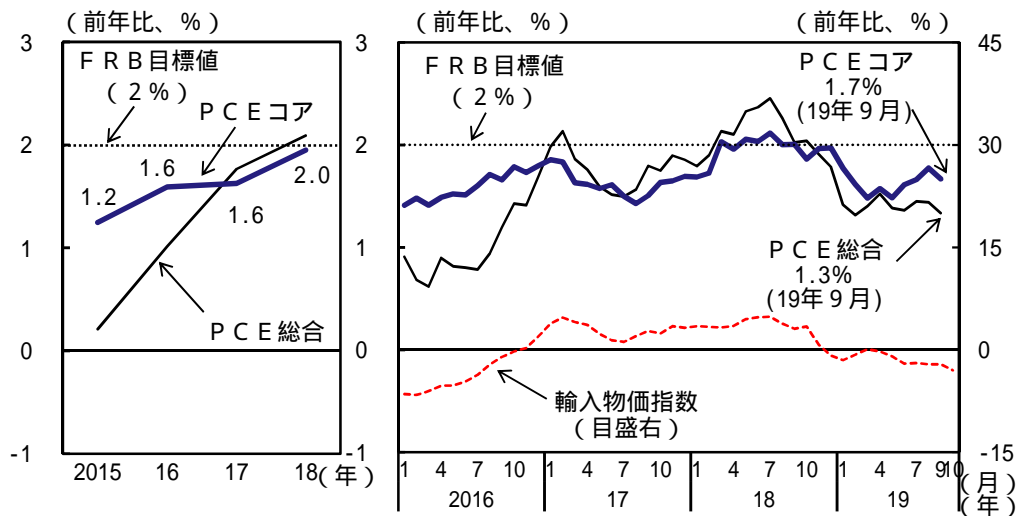
(備考) 財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

雇用者数は増勢が鈍化、失業率は低水準でおおむね横ばい



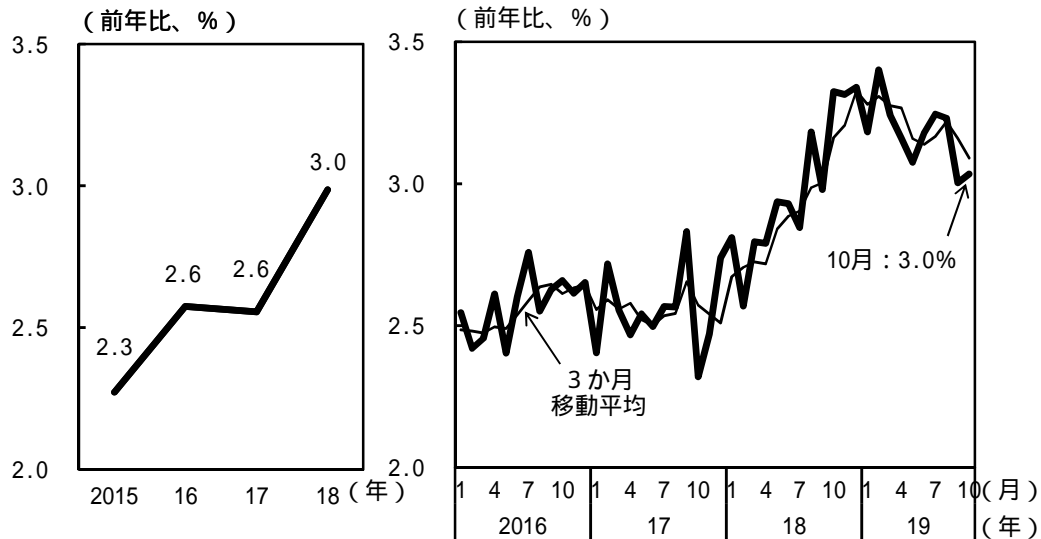
(備考) 雇用者数は非農業部門。

コア物価上昇率はこのところ安定



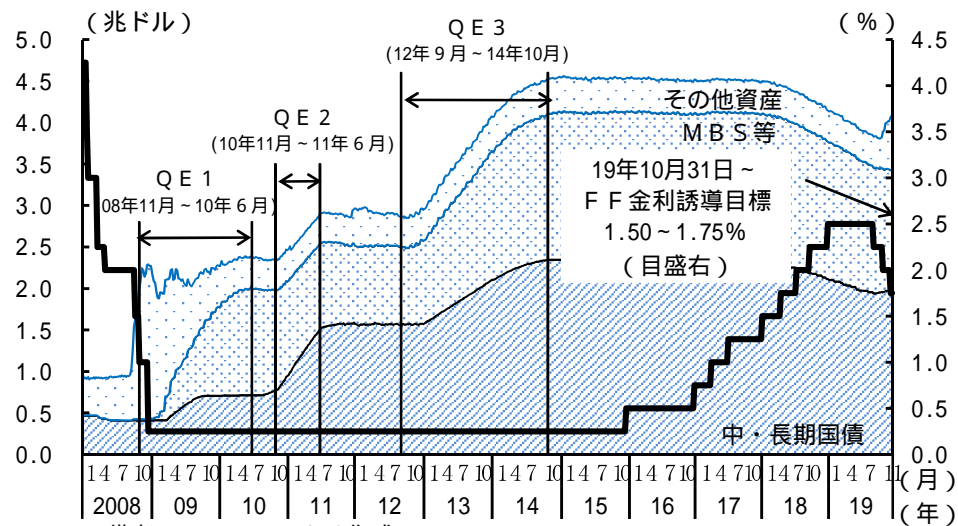
(備考) 1. 上図のPCEは、個人消費支出デフレーターを指す。
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

賃金の伸びはやや低下



(備考) 賃金の伸びは全雇用者の時間当たり賃金の前年比。

金融政策



(備考) 1. FRBより作成。
2. F F金利誘導目標については、上限を指す。